

## 第 21 回 北区地域包括ケア推進総括協議会議事録

日 時：平成 30 年 1 月 25 日（木）15：00～16：00

場 所：真星病院 本館 4 階 会議室

出席者：36 名（別紙参照）

書 記：真星病院地域連携室 石野

### 議 題

#### 【報告事項】

- ・事務局 真保 MSW（資料参照）

現在、総会には 47 名から申し込みがあった。参加人数把握の為、参加頂ける方は必ず申し込み頂きたい。医療介護サポートセンター事業の支出に関しては、前年度と同様の経過。まだ 100 万円以上残っているの  
で、積極的に活動して頂きたい。

- ・北区医療介護サポートセンター 早草コーディネーター  
今年度も北区医療介護資源情報集を作成する準備を進めている。今年度中にデータを揃えたい。
- ・北神医療介護サポートセンター 平岡コーディネーター  
3 月 24 日に市民啓発開催予定。最終の脚本も出来上がっており、現在練習中。

#### 【検討事項】

- ① 平成 30 年度北区地域包括ケア推進総括協議会体制について（別紙参照）

来年度も同じ体制で良いか事務局会で話し合ったところ、以下の意見が出された。（事務局会議事録）

- ・現状では会議や研修会の企画や準備等をすべて事務局が行っており負担が大きい。
- ・地域連携室が担当している病院が多く、連携室業務との両立が困難。
- ・あんしんすこやかセンターも、会議への出席等の活動が業務負担になっている。
- ・会議の回数が多い。
- ・同じメンバーが参加する会議が多い。
- ・会議や研修会議題がやり尽くされた感がある等。

サポートセンターに研修会や市民啓発活動をまとめることは可能か確認したが、北区は人員配置が 1.5 人と少なく、病院業務と兼務するスタッフもいるため難しいとの返答があった。

このような状況を踏まえ、方針を本区・北神地区で決定し、詳細をブロック会議で話し合う形とする新しい体制案を作成した。

- ・総括協議会については、北区地域包括ケア事業の全体把握・方針検討・意見交換を目的とする。
- ・ブロック会議は、本区・北神地区の単位で管理し、地域包括ケア運営会議（仮称）では医療介護サポートセンター事業に沿って地域課題の抽出・解決を行う場としたい。
- ・ブロック会議は地域課題解決のためのグループワークを中心とし、サポートセンター事業以外の内容についてはワーキンググループとして別途設置する予定。
- ・事務局会を今後も継続するのであれば、実務的な全体調整や意見交換を行いたい。

（松本先生）他ブロックとのコミュニケーションは大切だと思う。合同ブロック会議の回数を増やし、合同ブロック会議の場でもグループワークをすれば、各ブロックの活性化に繋がるのではないかと。

（富田医師）ブロック会議で地域の課題を抽出し、多職種で検討することは大事だと思う。

（中野様）他の区は専従で業務を行っており、内容も良くなっている。北区も専従に出来れば良いと思う。

（横山様）各ブロックでブロック会議を開催する場合、サポートセンターはどのような位置づけになるのか。また、ブロック会議では地域課題について話し合うのか。

（真保 MSW）ブロック会議で地域課題を抽出し、合同ブロック会議でグループワークをする形を考えている。

（松本先生）この組織図では事務局がサポートセンターになっているが、サポートセンターが運営業務を行うことになり、本来のサポートセンター業務を各病院で担うことになるのではないかと。

（入江先生）北区は 5 ブロック制を維持する。合同ブロック会議で、サポートセンターがサポートできるような形に変えることが目的。あんしんすこやかセンター同士が話し合えるようにブロックを作っている。

（坂様）予防関連の事業にはあんしんすこやかセンターの予算が、医療・介護の事業にはサポートセンターの予算が使われるため、合同で動くときに難しい。予算の動きを考えると棲み分けを作らざるを得ない。

（入江先生）介護保険課からは該当部分以外の予算は出ないので、介護保険課で賄えないところをこちらで

賄う。各ブロックに応じたやり方で対応して頂ければ良い。課題を解決して区民に還元することが協議会の目的。

(松本先生) 各ブロックは今まで通り独立しながら、合同ブロック会議の回数を増やす等コミュニケーションを図る機会を増やせば、当初の仕様を変えずにうまくやっていけるのではないかと。

(坂様) 医療介護サポートセンターで出されている課題とあんしんすこやかセンターで出す課題は全く違って来る。それぞれから出てくる課題を、本区と北神の医療介護サポートセンターが事務局となって開催する運営会議の中で同列に扱われるのは良いものかと思う。

(入江先生) あんしんすこやかセンターが挙げてくる地域課題は、最終的に医療がどれくらい関与してくれるのかという話が大半を占め、医療の分野が関わらざるを得ない部分がある。

(坂様) あんしんすこやかセンターが挙げる課題で、医療に関するものはこちらで検討してもらいたい。

(入江先生) ブロック会議のこれからの一番大きな柱になると思う。最終的にはサポートセンターやひょうごこころの医療センターにも協力頂く必要がある。認知症に関しては、医療か介護かではなく、協力体制が必要。

(松本先生) あんしんすこやかセンターの地域課題とブロック会議での課題は全く違うのか。

(坂様) あんしんすこやかセンターが関わる課題は、高齢者の集い場や認知症カフェ等、健康寿命の延伸や介護予防の色合いが濃い。介護予防に重点を置いている部分が多く、医療と切り離して考えることはできない。

(真保 MSW) 頂いた意見をもとに、事務局会でも体制案を修正する。

介護や高齢者の集い場、認知症カフェ等についても検討できるような場を考えていく必要があると思う。

## ② 北区地域包括ケア推進総括協議会ホームページの作成について

サイボウズの契約を3月で解約し、サイボウズ等にかかる年間40万円の費用でサイトを立ち上げる。運営必要コストは12万円程度。将来は、医療介護資源マップや活動内容も掲載したい。必要であれば、会員限定情報については、ログインして閲覧する形にしても良い。

### 【その他報告事項】

#### ・北区歯科医師会（井津上先生）

平成30年2月28日に、介護者向け口腔ケア研修会を開催する。

口腔ケア不良による口腔機能低下症やフレイルの予防という観点から、歯科医師会としてサポートできると考えている。先着30名、まだ空きがある。

#### ・ひょうごこころの医療センター（小田先生）

認知症疾患医療センターに指定されて約1年が経過した。この度、医療機関や介護機関と連携しながら、地域の認知症の保健医療推進の向上に寄与するために、「認知症疾患医療連携協議会」を設置したいと考えている。

(赤木様) 前回総括協議会にて頂いたご意見をもとに院内で検討し、設置要綱を策定した。(資料参照)

前回との変更点は、協議事項と守秘義務の2点。具体的な症例や地域の課題について検討する機会もあるので、個人情報の取り扱いについて追加した。前回は北区の関係機関すべてを入れていた参加機関案を、総括協議会の各ブロック代表病院、神戸市北区・北神両医療介護サポートセンター、認知症疾患医療センター、介護・福祉関係、行政関係、専門職団体とした。

#### ・北保健センター（坂様）

平成29年11月1日より、警察から認知高齢者の事案について情報提供して頂くこととなった。事案について連絡が来た場合、あんしんすこやかセンターやケアマネジャーに連絡し、必要なサービス利用へ繋げていく。

#### ・神戸在宅医療・介護推進財団（森田様）

3月3日に、『地域医療構想』をテーマにクラウンパレスにて講演会を開催する。後日申込書をお送りする。

#### ・薬剤師会（集田先生）

健康講座を2月17日(土)に開催。テーマは『笑って歌って防ごう！認知症』。

北神区民センター「ありまホール」にて14時30分～。

次回 5月24日(木) 15:00～ 於真星病院本館4階会議室